

2015年5月18日  
株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ

## 株式会社アスクレップとの資本業務提携に関するお知らせ

～安全性情報サービスの拡充・創薬研究開発支援で連携～

株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ(本社:京都府京都市中京区、代表取締役社長:村上 竜太、以下「京都コンステラ・テクノロジーズ」)は、株式会社アスクレップ(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:矢作 友一、以下「アスクレップ」)と資本業務提携契約(以下「本提携」)を締結しましたことをお知らせします。

京都コンステラ・テクノロジーズは、自社開発する医薬品有害事象情報システム(「CzeekR(シーゼークアール)」および「CzeekV(シーゼークブイ)」)の事業展開を2014年10月よりインテージグループと共に進めてきましたが、このたび、インテージグループの事業会社であるアスクレップと資本業務提携をすることで、さらなる事業連携の体制を構築いたします。

安全性情報事業は、有害事象の収集だけでなく医薬品リスク管理計画(RMP)の策定など事業領域が拡大すると共に、その専門性に対する要求が高まっています。アスクレップは、製造販売後調査や臨床試験における医薬品に関する情報収集・処理のノウハウを有しており、この経験を活かしたソリューション型の付加価値の高いサービスを展開しています。今回の資本業務提携により、京都コンステラ・テクノロジーズが開発する医薬品有害事象情報システム(「CzeekR」および「CzeekV」)と連携することで、安全性情報におけるコンサルティングからシステム提供までのより幅広いサービスの提供が可能となります。

また、京都コンステラ・テクノロジーズは、創薬研究効率化のための創薬計算サービスや医薬品候補化合物のスクリーニングシステム「CzeekS」、デザインシステム「CzeekD」の開発・販売事業を行っています。これらとアスクレップの臨床開発・製造販売後調査支援サービス、安全性情報サービス、および、インテージグループのヘルスケア関連サービスとが連携することで、医薬品の一連のライフサイクルをトータルにサポートすることが可能となり、両社の事業に大きなシナジー効果を生み出すことが期待されます。

### 【本件に関する連絡先】

株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ

担当:村上 竜太

Tel:075-241-9672 Fax:075-241-9673

【株式会社京都コンステラ・テクノロジーズ】<http://www.k-ct.jp/>

京都コンステラ・テクノロジーズは、京都大学発ベンチャーとして2008年3月に設立いたしました。京都大学大学院医学研究科・奥野恭史教授の研究技術をコアとし、製薬企業・研究所の創薬研究支援事業、医薬品の副作用情報などのデータベース検索システムの開発など、最先端の計算科学技術を用いて独自のサービス・製品を提供しています。

【アスクレップ】 <http://www.asklep.co.jp/>

アスクレップは医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスとした医薬情報事業を展開しています。その先にいる患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献することをコアバリューとし、知的集約型の Medical Intelligence Provider (情報価値創造企業) として、医療に関わる情報・データの価値を高め、付加価値の高いソリューションの提供を目指しています。